

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	56,502千円	55,976千円	56,909千円	0千円
	総人件費	7,194千円	6,747千円	6,903千円	
	総事業コスト	63,696千円	62,723千円	63,812千円	

事務事業名	01 芸術文化公演事業			指標名	入場率				指標種別	活動結果指標				指標の概要	各公演の定員に対する入場者数の平均						
	戦略プラン	I	3	2	文化芸術の振興	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績			69%	81.5%	65%	74%	-	
		-	-	-																	
総合戦略	Ⅲ 1 4 文化・芸術の振興			改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	入場者数							
		-	-		-																
		-	-	-																	
市長公約	-																				
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針																				
根拠法令等	文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例																				
事業分類	E 補助金・負担金事業																				
執行体制	一部委託																				
事業の目的	市民が優れた文化芸術作品等に接する機会の拡充を図り、創造性豊かな潤いある街づくりを目指すため。 市民の多種多様な文化芸術活動が活発に展開される環境を整備するうえで、活動を担う人材の育成を図るため。 国際的に著名なアーティストを招聘し、クラシック音楽を中心とした公演を企画することで、優れた音楽公演に接する機会を提供するため。																				
事業の概要	つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催という形式により市内の文化施設等を利用し、音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの芸術文化事業を実施する。国際音楽祭事業については、芸術性の高いクラシック公演に身近に触れてもらうため、国内有数の音響効果を持つノバホールを会場として、良質なプログラムを厳選して開催する。																				
ISO 14001	H29 環境関連性	-																			
	H30 環境関連性	-																			
事業の進捗状況	事業の進捗状況			達成	改善目標の進捗状況			達成	事業の進捗状況			-	改善目標の進捗状況			-					
評価	有効性			中：適切な成果が得られている				有効性			-										
	効率性			中：適切な費用対効果が得られている				効率性			-										
総合評価			B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価			-											
H31年度当初積算根拠	事業実施コスト			H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	事業費(A)			45,602千円	45,076千円	45,709千円	0千円							
	国庫支出金			0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金			0千円	0千円	0千円	0千円							
地方債			0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財			0千円	0千円	0千円	0千円								
一般財源			45,602千円	45,076千円	45,709千円	0千円	人件費(B)			4,995千円	4,614千円	4,770千円									
正職員			従事割合	0.60人	0.60人	0.60人	時間外勤務			226.00時間	138.00時間	200.00時間									
臨時職員等			無	無	無	事業コスト(A+B)			50,597千円	49,690千円	50,479千円										
H31年度当初積算根拠			-				H31年度当初積算根拠			-											
H31年度の方向性	理由			-				理由			-										
	理由			-				理由			-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	56,502千円	55,976千円	56,909千円	0千円
	総人件費	7,194千円	6,747千円	6,903千円	
	総事業コスト	63,696千円	62,723千円	63,812千円	

事務事業名	02 文化団体等育成支援事業				指標名	加盟団体数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	文化協会の加盟団体数				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-				80団体	80団体	80団体	80団体	80団体	80団体	80団体	80団体								
	-				実績	64団体	60団体	51団体	47団体	-										
総合戦略	-				H29年度				H30年度				その他の指標	加盟人数						
	-				改善目標	つくば市文化協会では、活動部門・分野ごとの組織への改編が実施され2年が経過したが、引き続き文化協会への指導や助言等を行っていく。また、入会促進を図り会員数を増加させる。				改善目標	つくば市文化協会では、活動分野ごとに組織の改編が行われたが、スムーズな活動が図れるよう、引き続き指導や助言等を行っていく。また、入会促進を図り、会員数の増加を図る。									
	-																			
市長公約	-				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> つくば市文化協会への補助金交付 文化協会本部の芸術展、芸能祭の実施 部門ごとの芸術展、芸能祭の実施 入会促進を図るため広報の実施 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> つくば市文化協会への補助金交付 活動部門ごとの芸術展や芸能祭等の実施 会員募集及び主催事業の広報の実施 庁舎1階での文化団体作品展示を1ヶ月ごとに実施 				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針														事業費(A)	900千円	900千円	1,200千円	0千円	
根拠法令等	つくば市補助金交付適正化規則 つくば市文化協会補助金交付要綱														国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円											
					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円											
					一般財源	900千円	900千円	1,200千円	0千円											
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> つくば市文化協会へ事業費補助金として900,000円を交付した。 活動分野ごとに組織を再編し、団体間の交流が活発に行われた。 7月に七夕コンサート、9月に歌謡祭、10月にハワイアン&フラフェスティバル・和芸能祭、11月に洋芸能祭、1月に芸術展、2月に和芸能祭を開催した。 庁舎1階で文化団体の作品展示を1ヶ月ごとに実施した。 平成29年度つくば市文化協会加盟者数：562人 				人件費(B)	733千円	711千円	711千円							
執行体制	補助金(直接)									成果	つくば市文化協会の組織を活動分野ごとに再編し、団体間の交流が活発に行われたほか、つくば市文化協会主催事業が増加し、市民との交流も促され、文化活動の活性化につながった。				正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	
事業の目的	つくば市内文化団体の育成・支援を図り、各団体の文化活動を活性化させるため。				課題	つくば市文化協会では、29年度に活動部門、さらに細分化された分野ごとの組織への改編が行われたため、スムーズな活動ができるよう指導・助言等を行っていく必要がある。また、会員の減少や高齢化が進んでいるため、入会の促進を図る必要がある。									時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
	事業の概要	市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。								上半期成果	-				臨時職員等	無	無	無		
		ISO 14001	H29 環境関連性												事業の進捗状況	-				事業コスト(A+B)
H30 環境関連性				達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-								
				有効性	中：適切な成果が得られている		評価		有効性			-								
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性			-								
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価		-										
H31年度当初積算根拠															H31年度当初積算根拠	-				
H31年度の方向性															H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	56,502千円	55,976千円	56,909千円	0千円
	総人件費	7,194千円	6,747千円	6,903千円	
	総事業コスト	63,696千円	62,723千円	63,812千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

事務事業名	03 (公財)つくば文化振興財団支援事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-							
戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-										
	-					実績	-	-	-	-	-	-	-										
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-								
	-					専門職員を育成するための支援を図る。				文化芸術における様々な分野の専門職員を育成するための支援を図る。					-								
	-					-				-					-								
市長公約	-				事業計画	・(公財)つくば文化振興財団への補助金交付 ①つくば国際音楽祭事業 ②つくば市芸術文化事業(鑑賞型) ③つくば市芸術文化事業(参加型) ④美術展事業 ⑤絵画制作表彰事業 ⑥文化芸術活動支援事業 ⑦インターネット・チケット予約システム				・(公財)つくば文化振興財団への補助金交付 ①つくば国際音楽祭事業 ②つくば市芸術文化事業(鑑賞型) ③つくば市芸術文化事業(参加型) ④美術展事業 ⑤絵画制作表彰事業 ⑥文化芸術活動支援事業 ⑦インターネット・チケット予約システム				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初					
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針					活動実績	・(公財)つくば文化振興財団へ運営補助金として1,000万円を交付するとともに、市職員の派遣を行った。 ・つくば市芸術文化事業、美術展示業、絵画制作表彰事業、文化芸術活動支援事業、インターネット・チケット予約システムについて、事業計画通り実施した。 ・つくば国際音楽祭事業については、出演者の都合により、1事業実施できなかった。				-				事業費(A)	10,000千円	10,000千円	10,000千円	0千円				
根拠法令等	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律等						成果	公益財団法人であることから、収益事業などに様々な制限がある中で、財団の運営は行われているが、財団の自助努力で創意工夫のもとに事業運営が図られている。				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	E 補助金・負担金事業				課題	公益財団法人として、文化芸術の振興及び文化施設の管理に特化した組織として、今後も様々な専門性を有し、安定した財政運営を目指していくための人材育成が必要になってくる。				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
執行体制	補助金(直接)					事業の概要	公益財団法人つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付や市職員の派遣等を行う。				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	多彩な事業を担う公益財団法人つくば文化振興財団に対し財政的支援を行うことで健全経営を図り、芸術文化振興事業を通し市民の豊かで魅力ある都市生活の向上に寄与するため。				事業の進捗状況		達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
	事業の概要	-				有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			一般財源	10,000千円	10,000千円	10,000千円	0千円					
ISO 14001		H29 環境関連性	-			評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-			人件費(B)	1,466千円	1,422千円	1,422千円				
	H30 環境関連性	-			総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価		-			正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人				
															時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
															臨時職員等	無	無	無					
															事業コスト(A+B)	11,466千円	11,422千円	11,422千円					
															H31年度当初積算根拠	-				H31年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	21	市民文化祭開催に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,657千円	8,916千円	11,129千円	0千円
	総人件費	6,603千円	6,209千円	6,393千円	
	総事業コスト	16,260千円	15,125千円	17,522千円	

事務事業名	01	つくば市民文化祭開催事業			指標名	来場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	市内7会場(筑波, 大穂, 谷田部, 豊里, 桜, 荃崎, 中央)の来場者数	
		I	3	2	文化芸術の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	25,000人			25,000人
戦略プラン		-	-	-		実績	23,941人	24,117人	27,780人	28,084人	-						
総合戦略	III	1	4	文化・芸術の振興	H29年度				H30年度				その他の指標	参加者数, 参加団体数			
					改善目標	引き続き, 体験教室や子ども達の作品を展示し, 集客につなげていく。参加団体への助成金について上限額の引き上げを検討する。				改善目標	前年度に引き続き, 体験教室等の参加型イベントや子ども達の作品展示を行い, 集客につなげる。						
市長公約	-				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 開催日は, 11月4日, 5日(荃崎は10月31日から) 会場は, 筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荃崎・中央の7会場で行う。 市民文化祭実行委員会の開催(5月・9月・2月) 各会場催事委員会の開催(各会場ごと) 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 開催日は, 11月3日, 4日(荃崎は10月30日から) 会場は, 筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荃崎・中央の7会場で行う。 市民文化祭実行委員会の開催(5月・10月・2月) 各会場催事委員会の開催(各会場ごと) 						
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針					活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 開催日: 11月4, 5日(荃崎は10月31日から) 参加団体数: 377団体 参加者数: 4,961人 来場者数: 28,084人 参加団体への助成金について, 上限額を引き上げた。 				上半期活動実績	-					
根拠法令等	文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例				成果		<p>市内7会場(筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荃崎・中央)で開催し, 市民による音楽やダンス等の芸能発表と絵画・書写等の展示発表を実施した。なお, 桜会場は展示発表のみ。</p> <p>市民が文化芸術を身近に接することにより興味や関心を育むきっかけとなり, 市全体の文化芸術に対する意識の高揚につながった。また, 体験教室等の参加型イベントや子ども達の作品展示を行い, 来場者も増加させることができた。</p>					上半期成果	-				
事業分類	A 任意的事业					課題	体験教室や子ども向けのイベントを企画し, 来場者の増加につながる工夫を検討する必要がある。				課題		-				
執行体制	一部委託				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-	
事業の目的	文化芸術活動の成果を発表する場を提供することで参加意欲の向上を図る, それら文化芸術作品に身近に触れる機会を提供することで市民の文化芸術意識の高揚を図るため。					評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H31年度の方向性	-
	事業の概要	市内各地区の地域交流センター・体育館・市民ホール等を会場として, 参加団体及び個人の作品展示やステージ発表のほか, 音楽会, 小中学校芸術展などを実施する。					効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		効率性		-					
ISO 14001		H29 環境関連性	-			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-							
	H30 環境関連性	-															

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	22	メディア芸術振興に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	4,864千円	605千円	5,521千円	0千円
	総人件費	2,675千円	2,361千円	2,588千円	
	総事業コスト	7,539千円	2,966千円	8,109千円	

事務事業名	01 メディア芸術振興事業				指標名	入場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-				3,000人	3,000人	3,000人	150人	3,000人	150人	3,000人			メディアアートフェスティバル, ショートムービーコンペティション両事業来場者数の合計 (メディアアートフェスティバルは隔年開催 H29～)					
	-				実績	2,315人	2,162人	2,538人	150人	-									
総合戦略	Ⅲ 1 4 文化・芸術の振興				H29年度				H30年度				その他の指標						
					改善目標	つくばショートムービーコンペティションについて, 高校など市内での広報に力を入れ, 地域に根ざした催事へ発展させると同時に, つくば部門への応募数を増加させる。				改善目標	つくばショートムービーコンペティションについて, 市内の高校・大学等への広報に力を入れ, つくば部門への応募数を増加させる。				ショートムービー作品応募数				
市長公約	-				事業計画	・メディアアートフェスティバル: 平成30年度開催に向けて筑波大学等との打合せ ・つくばショートムービーコンペティション: 実行委員会の開催(8月・1月・2月・4月) 上映会及び審査会: 2月24日(土)開催予定				事業計画	・メディアアートフェスティバル: 7月28日～8月5日開催予定 ・つくばショートムービーコンペティション: 実行委員会の開催(1月・2月・3月) 上映会及び審査会: 2月下旬開催予定				事業実施コスト				
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針					活動実績					上半期活動実績				H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
根拠法令等	文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例				成果	・メディアアートフェスティバル: 平成30年度開催に向けた筑波大学との打合せを実施した。また, つくば美術館の他, つくば駅構内でも実施する。 ・つくばショートムービーコンペティション: 筑波学院大学等と連携し, 2月24日(土)筑波学院大学大ホールにおいて実施した。応募総数122作品(うちつくば部門10作品)				課題	・メディアアートフェスティバル: 平成30年度開催に向けて筑波大学との調整が図れた。 ・ショートムービーコンペティション: 作品の応募総数が122作品と増加し, 徐々に定着してきている。また, グランプリ作品が, 姉妹都市の仏・グルノーブル市の屋外短編映画祭へ招待され上映された。				内訳				
事業分類	A 任意的事业					事業の進捗状況					事業の進捗状況				事業費(A)	4,864千円	605千円	5,521千円	0千円
執行体制	職員のみ				達成				達成				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	最先端の科学技術を駆使した, 新たなアートの世界(メディア芸術)を紹介し, 科学技術に対する親近感の醸成, 新しい芸術表現の可能性を体感・創造し, つくばらしい文化芸術の振興に寄与していくため。				評価				評価				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
	○市内大学, 研究機関等と連携し, 2事業を実施する。 ・つくばメディアアートフェスティバル: メディア芸術作品を市民に周知する一環としてつくば美術館にて作品の展示会を行う。 ・つくばショートムービーコンペティション「つくッペ」: 10分以内の映像作品を募集し, コンテストを実施する。				有効性				中: 適切な成果が得られている				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要					課題				課題				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
					事業の進捗状況				事業の進捗状況				一般財源	4,864千円	605千円	5,521千円	0千円		
ISO 14001	H29 環境関連性	-				達成				達成				人件費(B)	2,675千円	2,361千円	2,588千円		
	H30 環境関連性	-				達成				達成				正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
													時間外勤務	180.00時間	90.00時間	180.00時間			
													臨時職員等	無	無	無			
													事業コスト(A+B)	7,539千円	2,966千円	8,109千円			
													H31年度当初積算根拠						
													H31年度の方向性						
													-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	13	11	ノバホール維持管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	86,317千円	88,322千円	86,776千円	0千円
	総人件費	3,743千円	3,630千円	3,630千円	
	総事業コスト	90,060千円	91,952千円	90,406千円	

事務事業名	01	ノバホール管理運営事業(指定管理者制度)	指標名	施設稼働率(ホール)					指標種別	活動結果指標		指標の概要	ホールの開館日数に対する利用日数の割合
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	-	-	-	75%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%		
	-	-	-	実績	86%	83%	79%	83%	-				
総合戦略	H29年度				H30年度				改善目標	改善目標	その他の指標	施設利用回数	
	-	-	-	-	-	-	-	-					指定管理者との意見交換を実施し、老朽化や不具合が発生した施設・設備については、修繕等を行い、利便性の向上を図り安全な施設の維持管理を行う。
市長公約	-				-								
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針				事業計画				事業計画				
根拠法令等	つくば市立ノバホール条例				活動実績				活動実績				
事業分類	F 施設等維持管理事業				成果				成果				
執行体制	指定管理者				課題				課題				
事業の目的	つくば市における芸術文化振興の中核施設であるノバホールの施設管理及び貸館業務において、指定管理者制度を導入することで適正な運営を図るとともに、継続的に施設整備(修繕)を行うことにより、施設の機能維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全の確保を図るため。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				
事業の概要	ノバホールは、公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)の範疇を超える修繕については、市が直接工事発注し修繕を行う。				達成				達成				
	改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況								
	有効性				中:適切な成果が得られている				有効性	-			
	効率性				中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
	総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	-		-		-							
	H30 環境関連性	-		-		-							
	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初								
	事業費(A)	86,317千円	88,322千円	86,776千円	0千円								
内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円								
	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円								
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円								
	その他特財	41千円	41千円	41千円	0千円								
	一般財源	86,276千円	88,281千円	86,735千円	0千円								
	人件費(B)	3,743千円	3,630千円	3,630千円									
内訳	正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人								
		時間外勤務	30.00時間	30.00時間	30.00時間								
		臨時職員等	無	無	無								
	事業コスト(A+B)	90,060千円	91,952千円	90,406千円									
	H31年度当初積算根拠												
	H31年度の方向性	-	理由	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	14	11	つくばカピオ維持管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	251,892千円	277,186千円	251,482千円	0千円
	総人件費	3,743千円	3,630千円	3,630千円	
	総事業コスト	255,635千円	280,816千円	255,112千円	

事務事業名	01	つくばカピオ管理運営事業(指定管理者制度)	指標名	施設稼働率				指標種別	活動結果指標			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	施設の開館日数に対する利用日数の割合
				92%	92%	93%	93%	93%	93%	93%		
戦略プラン	-	-	-	-	実績	92%	93%	91%	99%	-		
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度			
	改善目標	指定管理者との意見交換を実施し、老朽化や不具合が発生した施設・設備については、修繕等を行い、利便性の向上を図り安全な施設の維持管理を行う。				改善目標	指定管理者との意見交換を実施し、老朽化や不具合が発生した施設や設備については、修繕を行い、利便性の向上を図り、安全な施設運営をと維持管理を行う。				その他の指標	施設利用回数
市長公約	-											
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針											
根拠法令等	つくばカピオ条例											
事業分類	F 施設等維持管理事業											
執行体制	指定管理者											
事業の目的	文化・スポーツ活動等の中核施設であるつくばカピオの施設管理及び貸館業務において、指定管理者制度を導入することで適正な運営を図るとともに、継続的に施設整備(修繕)を行うことにより、施設の機能維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全の確保を図るため。											
	活動実績	施設の貸館業務や維持管理について、例年通りの実績を残すとともに、自主事業として3月に消防本部と協力し、避難訓練コンサートを実施した。施設の修繕については、監視カメラ及び放送設備改修工事、熱交換器制御機器修繕、冷温水バイパス制御用バルブ修繕、給湯配管設備修繕等を実施した。また、指定管理者制度選定を実施し、平成30年4月から5年間の期間で、(公財)つくば文化振興財団が指定管理者となった。				上半期活動実績	-					
	成果	指定管理者と定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理状態を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する場合には、随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両方で協議のうえ、迅速に対応した。				上半期成果	-					
事業の概要	つくばカピオは、公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者の裁量において自らが行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)の範疇を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行う。											
	課題	開館から20年以上が経過した施設のため、空調・照明・音響等の設備が経年劣化に伴い不具合が頻発している。中長期的な修繕計画を策定し、補助事業等を取り入れるなど、財源確保の方法も検討していく必要がある。				課題	-					
	事業の進捗状況	達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-									
	H30 環境関連性	-	-									
	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				
	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
事業実施コスト	事業費(A)	251,892千円	277,186千円	251,482千円	0千円	内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		地方債	0千円	18,200千円	16,700千円	0千円	
	一般財源	249,709千円	258,335千円	234,131千円	0千円		その他特財	2,183千円	651千円	651千円	0千円	
	人件費(B)	3,743千円	3,630千円	3,630千円			一般財源	249,709千円	258,335千円	234,131千円	0千円	
内訳	正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	時間外勤務	30.00時間	30.00時間	30.00時間			
	臨時職員等	無	無	無								
	事業コスト(A+B)	255,635千円	280,816千円	255,112千円								
H31年度当初積算根拠	-											
H31年度の方向性	-	理由	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	地域交流支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	15	11	地域交流センター維持管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	217,804千円	219,786千円	252,927千円	0千円
	総人件費	12,801千円	12,283千円	9,582千円	
	総事業コスト	230,605千円	232,069千円	262,509千円	

事務事業名	01	地域交流センター維持管理事業				指標名	地域交流センター利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	市内17か所の地域交流センター利用者数		
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人				
	-	-	-	-	実績	472,646人	472,858人	454,993人	503,721人	-						
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度				その他の指標	-		
	-	-	-	-	改善目標	耐震補強が完了していない2施設の耐震化を進める。定期的に開催する各会議等において、実績や課題を整理し、参加者間で情報共有と検証を行うことにより、施設運営上の課題の改善を図る。				改善目標	耐震補強が未完了の栗原交流センターの耐震化を進める。定期的に開催する会議棟において、実績や課題を整理し、会議の参加者間で情報共有と検証を行うことにより、施設運営上の課題の解決や改善を図る。					
	-	-	-	-												
市長公約	No.77				事業計画	8月 吉沼交流センター耐震補強工事及び栗原交流センター耐震補強工事設計業務発注				事業計画	第2四半期までに、栗原交流センター耐震補強工事及び同工事の監理業務委託を発注する。施設運営委員会、所長会議、担当者会議、専門部会等の会議を定期に開催し、課題の解決を図る。公共施設自主点検マニュアルに基づき自主点検を実施する。					
個別計画	地域交流センター-基本計画					施設運営委員会、所長会議、担当者会議、専門部会等を定期的に開催し、課題の解決を図る。										
根拠法令等	地域交流センター-条例				活動実績	8月7日 栗原交流センター耐震補強設計業務委託契約締結。 8月9日 施設運営委員会開催 9月 9月の補正予算に、諸経費率の改定に伴う工事請負費の不足分要求するとともに、事業完了が来年度までかかることから、予算の繰越し手続きを行った。 12月5日吉沼交流センター耐震補強工事及び同工事の監理業務委託の契約締結。 地域交流センター所長会議及び同担当者会議を隔月で交互に開催した。				上半期活動実績						
事業分類	F 施設等維持管理事業															
執行体制	一部委託				成果	栗原地域交流センター耐震補強設計は、12月末に設計書の納品済み。吉沼交流センター耐震補強工事等は、予定よりもやや遅れたものの、発注することができている。各会議も予定通り開催し、前年度の実績や課題を整理し、会議参加者間で情報共有や検証を行うことができた。				上半期成果						
事業の目的	市民の自主的な活動の促進を図り、もって豊かで活力ある地域社会の形成に資するため。					課題	地域交流センター17施設のほとんどが、築30年を経過しており、施設及び設備の老朽化に伴う修繕箇所の増加が課題となっており、計画的な修繕が必要。また、現状では貸館が中心になってしまっているが、施設の目的は生涯学習と地域交流であるため、本来の目的達成のためには、あらたな取り組みや、事業の見直しが必要。				課題					
事業の概要	地域交流センター利用者が常に快適に利用できる環境を整えておく必要があるため、清掃委託をはじめ各種の契約行為等を実施する。また、利用者が常に使いやすい環境を整えておくため老朽箇所の修繕工事等を行う。				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-		
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-						
	H30 環境関連性	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
		-	-	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						
ISO 14001						評価					評価					
ISO 14001						事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						事業費(A)	217,804千円	219,786千円	252,927千円	0千円	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						国庫支出金	1,242千円	0千円	27,076千円	0千円	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						地方債	12,900千円	11,400千円	37,100千円	0千円	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						その他特財	24,145千円	22,544千円	24,660千円	0千円	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						一般財源	179,517千円	185,842千円	164,091千円	0千円	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						人件費(B)	12,801千円	12,283千円	9,582千円		H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						正職員	従事割合	1.58人	1.58人	1.20人	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						正職員	時間外勤務	462.00時間	417.00時間	417.00時間	H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						臨時職員等	有	有	有		H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						事業コスト(A+B)	230,605千円	232,069千円	262,509千円		H31年度当初積算根拠					
ISO 14001						H31年度当初積算根拠				理由						
ISO 14001						H31年度当初積算根拠				理由						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	5,532千円	5,315千円	6,637千円	0千円
	総人件費	606千円	597千円	1,450千円	
	総事業コスト	6,138千円	5,912千円	8,087千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	15	12	地域交流センター行事に要する経費

事務事業名	01 地域交流センター主催行事				指標名	講座延受講者数				指標種別	成果指標				指標の概要	年間の延受講者数					
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン	-				実績	12,350名	12,350名	12,350名	12,350名	12,350名	12,350名	12,350名									
	-					10,158名	9,445名	9,339名	8,230人	-											
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	総講座数 H24年度 148講座 H25年度 156講座 H26年度 183講座 H27年度 165講座 H28年度 178講座 H29年度 142講座						
	-					講座の周知方法, 土日祝日・夜間開講の講座, 講座のメニューについて更なる見直しを図り, 受講者の増加を目指す。				講座の周知方法の見直しを図るほか, 土日祝日・夜間開講の講座の増加, 提案型のテーマの講座の実施のため, 交流センターをグルーピングすることによる職員の相互応援体制の構築や, 学習効果を計測することができるよう受講者に対するフォローアップ調査の実施方法を検討する。											
	-																				
市長公約	-				事業計画	5月前期講座募集 6月～8月前期講座実施 9月後期講座募集 10～12月後期講座実施				事業計画	5月 平成30年度前期講座募集 6～8月 平成30年度前期講座実施 9月 平成30年度後期講座募集 10～8月 平成30年度後期講座実施				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	地域交流センター-基本計画														事業費(A)	5,532千円	5,315千円	6,637千円	0千円		
根拠法令等	地域交流センター-条例				活動実績	広報つくば5月号及びつくば市HP等で周知を行い, 平成29年度は前期講座として67講座, 後期講座として71講座のを開講したほか, 通年で実施する高齢者学級4学級を開講した。				上半期活動実績					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
	事業分類	A 任意的事业													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ				成果	講座によっては抽選になるほどの申し込みがあり, 受講後のアンケートにおいても, 好評を得ている。 なお, 吉沼交流センターの耐震補強工事実施に伴い, 前年度と比較して口座数が若干減少した、				上半期成果					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	地域交流センターの自主的な事業として, 前期, 後期の講座を実施することにより, 市民に学習機会を提供し, 生涯学習社会の実現に寄与するため。														その他特財	2,321千円	2,158千円	3,000千円	0千円		
事業の概要	各交流センターにおいて, 前期と後期に分けて市民ニーズに応じた講座等を企画し, 参加募集を行う。応募者多数の場合は抽選の上, 受講者を決定して講座を実施する。				課題	夜間や土日祝日に開講する講座数が前年度より減少している。子供向けの講座等で受講者が集まらず, 開催見送りとなった講座がいくつか発生した。受講者の学習効果の計測が難しい。				課題					一般財源	3,211千円	3,157千円	3,637千円	0千円		
															人件費(B)	606千円	597千円	1,450千円			
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	正職員	従事割合	0.08人	0.08人	0.20人			
	H30 環境関連性	-				評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		時間外勤務	7.00時間	11.00時間	11.00時間				
										臨時職員等	有	無	無	事業コスト(A+B)	6,138千円	5,912千円	8,087千円				
										H31年度当初積算根拠					-						
										評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		H31年度の方向性	-	理由	-
										評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	地域交流支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	16	11	市民ホール管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	209,919千円	95,517千円	101,561千円	0千円
	総人件費	4,483千円	4,551千円	1,637千円	
	総事業コスト	214,402千円	100,068千円	103,198千円	

事務事業名	01 市民ホール管理事業				指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	市内4か所(つくばね, とよさと, やたべ, くきざき)の市民ホール利用者数			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	-	70,000人	80,000人	90,000人	90,000人	90,000人	90,000人	90,000人	90,000人				
	-	-	-	-	実績	104,814人	123,014人	117,312人	113,989人	-						
総合戦略					H29年度				H30年度				その他の指標	-		
					改善目標	中長期的な計画に基づき、老朽化している施設及び設備について、優先順位や必要性に応じた修繕をすすめ、安心・安全な利用環境を維持する。				改善目標	老朽化した施設・設備について、中長期財政推計にも掲載しているとおり、優先順位や必要性を考慮し手の修繕を進めることにより、安心・安全な利用環境を維持する。また、前年度に実施できなかった市民ホールやたべの障害者用トイレ改修の設計を実施する。					
市長公約	-				事業計画	必要に応じて各市民ホールの修繕を実施する。市民ホールやたべにおいては、障害者用トイレの改修のための設計を行う。				事業計画	市民ホールやたべのトイレ改修工事の設計、市民ホールとよさとの利用者用トイレの改修工事を行うほか、各施設において必要性の高い修繕を実施する。公共施設自主点検マニュアルに基づき、自主点検を実施する。					
個別計画	-					活動実績	市民ホール4施設の利用者数は、目標の年間利用者数を超過し前年度並みの利用者である。市民ホール谷田部のホール側の利用者用女子トイレの便器3基を、寄付により洋式化洗浄機能付きに改修するのに合わせ、市においても3基を同様のものに改修したほか、コミュニティ棟1階の男女トイレの洋式トイレ各1基に洗浄機能を付加する改修を行った。				活動実績	-				
根拠法令等	つくば市市民ホール条例				成果		洋式化・アメニティ機能を付加したことにより、利用者に快適な利用環境を提供することができた。					成果	-			
事業分類	F 施設等維持管理事業					課題	市民ホールやたべの障害者用トイレは、施設整備当初のものであり、多機能化された現代のものとの差が大きい。このため、改修工事の設計を行う予定であったが、大規模な催事の実施にあたり、トイレの洋式化による利用者の利便性向上の必要が緊急で発生したため、設計委託料を流用することにより改修工事を実施した。このことにより、設計を行うことができない。				課題		-			
執行体制	一部委託				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-		
事業の目的	市民の文化の振興及び教養の向上を図り、もって福祉の増進に資するため。				評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-				
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
事業の概要	利用者が常に快適な環境で市民ホールを利用できるよう、清掃・維持管理業務など各種業務を実施し、快適な市民サービスを提供するとともに、老朽化に伴う不具合などが発生した場合は早期修繕に努め、安心・安全な利用環境を維持する。				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						
	ISO 14001	H29 環境関連性	-													
H30 環境関連性		-														
事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	事業費(A)		209,919千円	95,517千円	101,561千円	0千円	内訳				
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債		115,500千円	0千円	0千円	0千円	その他特財				
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源		83,738千円	83,224千円	88,549千円	0千円	人件費(B)				
地方債		115,500千円	0千円	0千円	0千円	正職員		従事割合	0.61人	0.61人	0.20人	時間外勤務				
その他特財		10,681千円	12,293千円	13,012千円	0千円	臨時職員等		5.25時間	85.00時間	85.00時間	無		無			
一般財源		83,738千円	83,224千円	88,549千円	0千円	事業コスト(A+B)		214,402千円	100,068千円	103,198千円	H31年度当初積算根拠		-			
人件費(B)		4,483千円	4,551千円	1,637千円		H31年度当初積算根拠						理由		-		
正職員		0.61人	0.61人	0.20人		H31年度の方向性						理由		-		
時間外勤務		5.25時間	85.00時間	85.00時間												
臨時職員等		無	無	無												
事業コスト(A+B)		214,402千円	100,068千円	103,198千円												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	地域交流支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	83,113千円	81,947千円	64,656千円	0千円
	総人件費	4,737千円	4,777千円	3,000千円	
	総事業コスト	87,850千円	86,724千円	67,656千円	

事務事業名	01	ふれあいプラザ指定管理者事業	指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市ふれあいプラザ利用者数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	75,000人	75,000人	75,000人	75,000人	75,000人	75,000人	75,000人					
	-	-	-	実績	75,098人	70,195人	67,847人	71,672人	-						
総合戦略	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	改善目標	自主事業や周知活動の強化により新たな利用者を獲得する。				改善目標	指定管理者の自主事業や周知活動の強化により新たな利用者の獲得を目指す。法令や条例等に基づき、指定管理制度の適切な運用を図る。								
市長公約	-	協定期間の終了に伴う、今後5年間の指定管理者の募集・選定・協定作業を行う。様々なイベントの実施				4月 年度協定書締結 協定書・仕様書に基づき、年間を通じての施設の運営及び適切な管理を行わせる。また、事業計画書に基づいた、講座の開設や貸館業務、催事を行わせる。協定書・仕様書に基づく市が行う修繕や、法定点検等を行い、快適な利用環境を提供する。公共施設自主点検マニュアルに基づき、自主点検を実施させる。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-	8月 子ども向けの肝試しイベント, JAZZ発表会 11月 ピアノ発表会 12月 ハロウィンイベント, 合同発表会 2月 劇団海峡公演 その他、通年での各種講座の実施				事業計画				事業費(A)	57,254千円	56,761千円	64,656千円	0千円	
根拠法令等	つくば市ふれあいプラザ条例		活動実績				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業		成果				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	指定管理者		課題				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。		事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財	41千円	41千円	41千円	0千円
			達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	達成	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	57,213千円	56,720千円	64,615千円	0千円
事業の概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者に委託し、適切な維持管理、施設の特徴を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。		評価				評価				人件費(B)	3,243千円	3,285千円	3,000千円	
			有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-		有効性	-		正職員	従事割合	0.44人	0.44人
ISO 14001	H29 環境関連性	-	評価				評価				時間外勤務	7.00時間	62.00時間	62.00時間	
	H30 環境関連性	-	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		効率性	-		臨時職員等	無	無	無
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		総合評価	-		事業コスト(A+B)	60,497千円	60,046千円	67,656千円
			H31年度当初積算根拠				H31年度当初積算根拠				理由				
			H31年度の方向性				H31年度の方向性				理由				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	83,113千円	81,947千円	64,656千円	0千円
	総人件費	4,737千円	4,777千円	3,000千円	
	総事業コスト	87,850千円	86,724千円	67,656千円	

事務事業名	02 市民研修センター指定管理者事業				指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市市民研修センター利用者数			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-				実績	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人				
	-					36,493人	35,360人	32,316人	34,737人	-						
総合戦略	-				H29年度				H30年度				その他の指標	-		
	-				改善目標	周知活動を強化し新たな利用者を獲得するとともに、施設修繕を計画的に実施する。				改善目標	平成30年度から生涯学習推進課へ移管					
	-															
市長公約	-				事業計画	協定期間の終了に伴う、今後5年間の指定管理者の募集・選定・協定作業を行う。様々な催事の実施 4月 春のさくらまつり 8月 夏休み子どもイベント 10月 利用者合同発表会 その他、通年で各種講座を実施				事業計画	平成30年度から生涯学習推進課へ移管					
個別計画	-															
根拠法令等	つくば市市民研修センター条例				活動実績	協定書・仕様書に基づき、管理者による年間を通じた施設運営及び適切な管理がなされている。また、事業計画書に基づいた、講座の開設や貸館、催事を実施した。本年度が従前の協定の最終年度になるため、新年度からの指定管理者の選定し、基本協定書(期間:5年)の締結した。				上半期活動実績	-					
事業分類	F 施設等維持管理事業															
執行体制	指定管理者				成果	施設利用者からの意見においても、好評を得ている。また、選定結果により、従前と同じ法人が指定管理者となったため、施設の設置目的や特徴を熟知しており、また、職員等にも変更がないことから、年度当初からこれまでと同様の施設運営と利用者サービスを行うことができる。				上半期成果	-					
事業の目的	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与するため。															
事業の概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者に委託し、適切な維持管理、施設の特徴を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。				課題	青少年や中壮年層を引き込む企画の立案や周知活動の強化が必要。また、築18年を経過し、施設・設備に老朽化が進行しており、修繕箇所が増加してきている。				課題	-					
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
	H30 環境関連性	-				評価	有効性	【終了】中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-				
				効率性	【終了】中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-								
				総合評価	—:事業の終了		総合評価	-								
H31年度当初積算根拠		-				事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初					
						事業費(A)		21,322千円	21,062千円	0千円	0千円					
						国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円					
						県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円					
						地方債		0千円	0千円	0千円	0千円					
						その他特財		11千円	11千円	0千円	0千円					
						一般財源		21,311千円	21,051千円	0千円	0千円					
						人件費(B)		1,185千円	1,194千円	0千円						
						正職員	従事割合	0.16人	0.16人	0.00人						
							時間外勤務	4.50時間	22.00時間	0.00時間						
						臨時職員等		無	無	-						
						事業コスト(A+B)		22,507千円	22,256千円	0千円						
H31年度の方向性		-				理由		-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	83,113千円	81,947千円	64,656千円	0千円
	総人件費	4,737千円	4,777千円	3,000千円	
	総事業コスト	87,850千円	86,724千円	67,656千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事務事業名	03 さくら民家園施設管理事業				指標名	来園者数				指標種別	成果指標				指標の概要	さくら民家園来園者数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-	-			
		-	-	-	-	実績	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人		-	-	-		
総合戦略	-	-	-	-	H29年度					H30年度					その他の指標	-				
	-	-	-	-	改善目標	中長期財政推計に盛り込んだ屋根修繕の実施計画を検討する。季節のイベントなどの情報を市HPやFacebook等で紹介することで、親しみやすく利用しやすい施設であることを周知する。					改善目標	平成30年度から生涯学習推進課へ移管								
	-	-	-	-																
市長公約	-				事業計画	通年での貸館及び見学受入れ 4～5月 大学のゼミ実習 11月 文化祭会場 1～2月 小学校社会科見学 その他、お茶会・お話しなどの文化活動の場の提供 屋根の修繕の実施計画の検討や老朽箇所の修繕。					事業計画	平成30年度から生涯学習推進課へ移管								
個別計画	-					活動実績	3月 施設維持管理業務委託契約締結 4月 警備業務(機械警備)委託契約 7月 植栽維持管理業務委託契約・植木剪定契約 締結、消防設備機能点検 9月 母屋北側軒部分の差し茅修繕 1月 消防用設備(特殊消防用設備等)点検 2月～3月 ひな人形展示 通常は一般開放、見学自由とした。4・5・6月に大学生・大学院院生の演習、11月に市民文化祭、1・2・3月にの社会科見学等を受け入れた。また、貸館として、童話の読み聞かせ、藍染め展、国際交流事業等に利用され					上半期活動実績	-							
根拠法令等	中央公園さくら民家園管理規則						成果	建物内部まで一般開放、見学自由とすることで、来園者につくば地方の伝統的な農家住宅の竹まいや構造を学ぶ機会を提供することができた。業務委託等により、清掃や植栽管理、法定点検等を行うことにより、施設の適切な管理ができた。また、母屋の屋根について、部分的な差し茅ではあるものの、破損の進行した箇所の修繕を実施し、雨水の浸透による屋根材の腐朽の進行を遅らせることができた。					上半期成果	-						
事業分類	F 施設等維持管理事業				課題	利用者の減少が続いているため、今後も利用促進のための周知活動が必要。母屋の屋根については、破損したぐしを幌で被覆しているほか、全体に茅材の損耗が進行しており、葺き替えの時期を迎えている。					課題	-								
執行体制	一部委託					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠					
事業の目的	さくら民家園の適正な維持管理を図ることにより、郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝統文化の継承に寄与するため。				事業の概要	日常的な清掃管理及び来場者への対応等の委託と団体利用者・催事等への貸出し、ひな人形の展示等を行う。					評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている				H31年度の方向性	-	理由	-
	ISO 14001	H29 環境関連性	-			効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている					効率性	-							
		H30 環境関連性	-			総合評価	—：事業の終了					総合評価	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	10,954千円	12,419千円	0千円	0千円
	総人件費	476千円	448千円	0千円	
	総事業コスト	11,430千円	12,867千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	11	社会教育振興に要する経費

事務事業名	01 社会教育振興事業	指標名	環境美化コンクール参加団体				指標種別	成果指標	指標の概要	大好きいばらき県民会議主催の花と緑の環境美化コンクール参加団体数									
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							H32年度				
	-	実績	9団体	10団体	11団体	11団体	12団体	13団体							14団体				
総合戦略	-	改善目標	H29年度 環境美化コンクールの周知方法を強化することより、参加団体の増加を図る。				H30年度 平成30年度から生涯学習推進課へ移管				その他の指標	-							
市長公約	-	事業計画	6月 環境美化コンクール参加団体の募集 ウェルカムフラワーの参加団体を対象にした周知活動の実施 7月 花壇審査。県民会議への推薦。 8月 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催				事業計画 平成30年度から生涯学習推進課へ移管				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初				
個別計画	-		6月 環境美化コンクール募集の周知活動及び応募受付開始。16団体からの応募を受付け。 7月 市審査の上、6団体を大好き茨城県民会議に推薦 8月 県民会議による1次審査実施(つくば市の推薦団体は落選) 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催				上半期活動実績				事業費(A)	10,954千円	12,419千円	0千円	0千円				
根拠法令等	社会教育法 つくば市社会教育委員条例	活動実績	6月 環境美化コンクール募集の周知活動及び応募受付開始。16団体からの応募を受付け。 7月 市審査の上、6団体を大好き茨城県民会議に推薦 8月 県民会議による1次審査実施(つくば市の推薦団体は落選) 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	A 任意的事业		ウエルカムフラワーの参加団体に対する周知活動の結果、応募団体が昨年度よりも6団体増加した。社会教育委員会議を年度内に2回開催し、文化芸術課、スポーツ振興課、中央図書館の社会教育に関する14事業について、実績等を報告することにより、委員から専門的立場からの意見を聴取することができた。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
執行体制	職員のみ	課題	-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	社会教育委員会議の開催や社会教育主事の配置を通じて、つくば市における社会教育の振興を図るため。		-				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の概要	社会教育委員の助言や指導を元に市の社会教育施策を実施し、環境美化コンクールの実施や社会教育主事の配置を通じて、市の社会教育行政の充実化を図る。	-	-				-				一般財源	10,954千円	12,419千円	0千円	0千円				
			-				-				人件費(B)	476千円	448千円	0千円					
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-				-				正職員	従事割合	0.06人	0.06人	0.00人				
	H30 環境関連性	-	-				-				時間外勤務	13.50時間	8.00時間	0.00時間					
		評価	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	臨時職員等	無	無	-					
			有効性	【終了】中：適切な成果が得られている				有効性	-				事業コスト(A+B)	11,430千円	12,867千円	0千円			
		効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				H31年度当初積算根拠	-						
		総合評価	—：事業の終了				総合評価	-											
																H31年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	3,343千円	3,482千円	0千円	0千円
	総人件費	232千円	225千円	0千円	
	総事業コスト	3,575千円	3,707千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	12	地域改善対策に要する経費

事務事業名	01	地域改善地区集会所維持管理事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-			
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
	-	-		-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	
総合戦略	-	-	改善目標	H29年度				H30年度			
	-	-		-				平成30年度から生涯学習推進課へ移管			
市長公約	-	-	事業計画	6～7月 高須賀地区集会所2階サッシュ窓修繕				平成30年度から生涯学習推進課へ移管			
個別計画	-	-		法定点検の適切な実施。 年3回(5月, 9月, 1月)浄化槽点検 年2回(10月, 3月)消防設備点検							
根拠法令等	高須賀地区集会所条例		活動実績	4月 施設の維持管理業務委託契約締結 5月 第1回浄化槽点検 6月 建物2階南面アルミサッシュ窓修繕 9月 消防用設備総合点検 12月 浄化槽水質検査 1月 第3回浄化槽点検 3月 縁・建具修繕 消防用設備機能点検 特殊建築物定期点検				上半期活動実績			
事業分類	F 施設等維持管理事業		成果	施設の維持管理を業務を委託することにより実施したほか、設備の法定点検を実施することにより、施設を適切に管理を行った。また、老朽箇所について必要に応じた修繕を実施し、快適な利用環境を提供することができた。				上半期成果			
執行体制	一部委託		課題	-				課題			
事業の目的	地域改善対策集会所整備費補助金により整備された高須賀地区集会所の適正な維持管理を図り、地域の交流の場として提供するため。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
事業の概要	集会所の維持管理、施設の貸出などを委託し、集会所を地域交流の場として適切に運用する。		評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている		有効性	-			
				効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-			
				総合評価	—：事業の終了		総合評価	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	-									
	H30 環境関連性	-									
事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初						
事業費(A)		3,343千円	3,482千円	0千円	0千円						
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円						
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円						
一般財源		3,343千円	3,482千円	0千円	0千円						
人件費(B)		232千円	225千円	0千円							
内訳	正職員	従事割合	0.03人	0.03人	0.00人						
		時間外勤務	4.50時間	4.00時間	0.00時間						
臨時職員等		無	無	-							
事業コスト(A+B)		3,575千円	3,707千円	0千円							
H31年度当初積算根拠		-									
H31年度の方向性		-	理由	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	13	家庭教育支援に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	24,751千円	24,998千円	0千円	0千円
	総人件費	5,354千円	787千円	0千円	
	総事業コスト	30,105千円	25,785千円	0千円	

事務事業名	01 家庭教育学級支援事業				指標名	家庭教育学級参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	家庭教育学級参加者数		
	戦略プラン	I	2	4	教育現場の支援体制整備	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
		-	-	-		20,500人	20,500人	20,500人	20,500人	20,500人	20,500人	20,500人			
		-	-	-		実績	20,302人	21,940人	23,571人	20,243人	-				
総合戦略					H29年度				H30年度				その他の指標	-	
					改善目標	家庭教育学級の支援が的確に指導できるよう社会教育指導員の助言や指導を図り、改善を行う。				改善目標	平成30年度から生涯学習推進課へ移管				
市長公約	-				事業計画	家庭教育学級の開設。学級の枠を超えた学習機会として講演会を年3回開催。 第1回 7月12日 第2回 10月1日 第3回 11月21日 社会教育指導員を文化芸術課に2人、各地域交流センターに14人を配置し、家庭教育の充実に努める。				事業計画	平成30年度から生涯学習推進課へ移管				
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画					活動実績	家庭教育学級の開設 77学級、学級生数12,256人 参加者数20,243人 家庭教育講演会の開催 全3回、参加者数670人 家庭教育セミナーの実施 幼稚園12園 255人 小学校30校 2303人 中学校13校 1618人 16人の社会教育指導員により、家庭教育学級の運営に際し助言・指導を行った。				上半期活動実績	-			
根拠法令等	社会教育法 社会教育指導員設置規則				成果		参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できた。また、学級運営に関わった市民の成長の場につながった。社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた。					上半期成果	-		
事業分類	A 任意的事业					課題	家庭教育学級の運営に際し、助言・指導を行なっているが、講座が趣味や交流に偏りがちである。				課題		-		
執行体制	職員のみ				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠
事業の目的	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てるため。 社会教育の特定分野における直接指導、学習相談、又は社会教育団体の育成を通じて、社会教育を推進するため。				評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-	H31年度の方向性	-	理由	
	事業の概要	家庭教育学級を開催する。学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行い、講演会や学習会を開催する。 非常勤の嘱託員16人を文化芸術課及び交流センターに配属し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等にあたる。				評価	効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性				-
ISO 14001		H29環境関連性	-	-	-	評価	総合評価	—：事業の終了		評価	総合評価				-

事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
事業費(A)	24,751千円	24,998千円	0千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	24,751千円	24,998千円	0千円	0千円
人件費(B)	5,354千円	787千円	0千円	
正職員	従事割合	0.72人	0.10人	0.00人
内訳	時間外勤務	29.50時間	30.00時間	0.00時間
	臨時職員等	無	無	-
	事業コスト(A+B)	30,105千円	25,785千円	0千円

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要 す る 経 費 全 体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	0千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	0千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	01 生涯学習審議会開催事業				指標名	生涯学習審議会開催回数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	審議会の開催数			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-				実績	4回	5回	4回	2回	4回	4回	4回							
	-					4回	5回	2回	2回	-									
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
	-					地域交流センター講座実績報告書の作成見直しや、事業の進行管理調査票の改善をする。				改善目標						平成30年度から生涯学習推進課へ移管			
	-																		
市長公約	-				事業計画									事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-					生涯学習審議会 開催回数2回				事業計画				平成30年度から生涯学習推進課へ移管					
根拠法令等	つくば市生涯学習審議会条例													事業費(A)	272千円	278千円	0千円	0千円	
事業分類	B 任意的事業(小規模)				活動実績									国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ					第1回 平成29年9月14日 委員13名出席 第2回 平成30年3月19日 委員16名出席 平成28年度にスタートした第2次生涯学習推進計画の初年度の進捗評価であるため、評価シートの見直しを行った。				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	市民が自己を高めるため、生涯にわたり社会のあらゆる領域で自発的、自主的に学習活動が行えるようにするため。													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要					成果	平成28年度より第2次生涯学習推進基本計画(5カ年)がスタートし、計画管理にあつたては、事業の進捗を評価する「事務事業評価シート」を参考に内容を見直し、課題が抽出出来るようにした。				上半期成果				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために調査審議する審議会を開催する。													一般財源	272千円	278千円	0千円	0千円	
														人件費(B)	2,984千円	3,605千円	0千円		
ISO 14001	H29 環境関連性	-			達成									正職員	従事割合	0.40人	0.50人	0.00人	
	H30 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	0.00時間			
					評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-	臨時職員等	無	無	-			
					効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-	事業コスト(A+B)	3,256千円	3,883千円	0千円				
					総合評価	—：事業の終了				総合評価	-	H31年度当初積算根拠	-						
												H31年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	0千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	0千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	02 つくば人間学講座				指標名	講座参加者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	講座の参加者数											
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績					832人	477人	315人	344人	-					
総合戦略				H29年度				H30年度				その他の指標					-										
改善目標				市民ニーズを把握するため、アンケートを実施し、より内容や講師選定等の改善をする。				改善目標				平成30年度から生涯学習推進課へ移管															
市長公約				-				-				事業実施コスト					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初							
個別計画				つくば市生涯学習推進基本計画				事業計画				平成30年度から生涯学習推進課へ移管				事業費(A)					126千円	132千円	0千円	0千円			
根拠法令等				-				事業計画				-				国庫支出金					0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類				B 任意的事業(小規模)				事業計画				-				県支出金					0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制				職員のみ				事業計画				-				地方債					0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的				行政と市民が協働で、政治・経済・健康・文化など様々な専門分野から時代性を反映したテーマを中心に、講座を企画・実施し、幅広い年代の生涯学習の推進を図るため。				活動実績				-				その他特財					0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要				平成7年から実施しており、実行委員を設置し、講座の内容・講師選定など企画全般を行い、行政は会場の準備や広報などを行う。				成果				-				一般財源					126千円	132千円	0千円	0千円			
-				-				課題				-				人件費(B)					1,661千円	752千円	0千円				
-				-				-				-				正職員					従事割合	0.22人	0.10人	0.00人			
-				-				-				-				時間外勤務					18.25時間	16.00時間	0.00時間				
-				-				-				-				臨時職員等					無	無	-				
-				-				-				-				事業コスト(A+B)					1,787千円	884千円	0千円				
-				-				-				-				H31年度当初積算根拠					-						
H29環境関連性				-				事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況				達成	H31年度当初積算根拠					-				
ISO14001				-				有効性				【終了】中：適切な成果が得られている				有効性					-						
H30環境関連性				-				効率性				【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性					-						
-				-				総合評価				—：事業の終了				総合評価					-						
-				-				-				-				H31年度の方向性					-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	0千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	0千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	03 出前講座事業				指標名	出前講座参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	出前講座の参加者数					
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
戦略プラン	-				実績	1,000人	2500人	2500人	2500人	2500人	2500人	2500人						
	-					2175人	2713人	3898人	4,106人	-								
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
	-					市民ニーズを把握するためのアンケートを実施し、メニューの充実を図る。				平成30年度から生涯学習推進課へ移管								
	-																	
市長公約	-				事業計画					平成30年度から生涯学習推進課へ移管				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-					・市民、チラシ及び出前講座のメニュー一覧を作成し、周知を図る。 ・メニュー内容の充実を図るため、全庁的に取り組む。								事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	-													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	B 任意的事業(小規模)				活動実績									県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市民が主催する学習会等に市の職員等が講師として出向き、市政に関する講座を行うことにより、生涯学習の推進を図ると共に、市民の市政に関する理解を深め、もってまちづくりへの参加の促進に寄与するため。					認知症サポーター養成講座 19件 637人受講 家庭ではじめる防災対策 11件 338人受講 消費者トラブル対処法講座～高齢者編～8件 204人				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策について説明するなどして、市政に関する講座等を行う。				成果	企画立案や講師選定などに市民が主体的に取り組むことができた。				-				一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円
														人件費(B)	1,612千円	711千円	0千円	
														正職員	従事割合	0.22人	0.10人	0.00人
					課題									時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
														臨時職員等	無	無	-	
														事業コスト(A+B)	1,612千円	711千円	0千円	
														H31年度当初積算根拠	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	-			達成									H31年度の方向性	-	理由	-	
	H30 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-						
					有効性	【終了】中：適切な成果が得られている				有効性	-							
				効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-								
				総合評価	—：事業の終了				総合評価	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	0千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	0千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	04 生涯学習指導者情報提供事業				指標名	情報提供数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	登録指導者の情報提供数											
	戦略プラン	- - - -				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度														
		- - - -				実績	50件	60件	60件	60件	60件	60件	60件														
総合戦略	- - - -				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-												
	- - - -					登録した指導者の整理を行い、主催事業で積極的に活用していく。				平成30年度から生涯学習推進課へ移管																	
	- - - -					47件				62件										84件				72件			
市長公約	-				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を提供する。 ・指導者情報をホームページに掲載する。 ・チラシの作成配布 ・市民の問い合わせに応じて、講師の紹介をする。 				事業計画				平成30年度から生涯学習推進課へ移管				事業実施コスト									
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画																	事業費(A)					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
根拠法令等	-																	活動実績					内訳				
	-																	情報提供数 72件（うち17件開催） 登録者総数 232名（うち新規36名） 継続の意思確認をし、講師情報を更新した。 最新情報のチラシを作成した。				上半期活動実績				国庫支出金	
事業分類	B 任意的事業(小規模)				成果	市民の学びたい・教えたいという意欲に応えることが出来た。				上半期成果				県支出金				0千円	0千円	0千円	0千円						
執行体制	職員のみ													課題				課題				地方債				0千円	0千円
事業の目的	市民の生涯学習意欲を満たすため。また地域全体が持つ能力を活かした学習機会の充実を図るため。				事業の概要	生涯学習指導者情報の登録を行い、市民の要望に応じた生涯学習指導者情報の提供をする。				-				その他特財				0千円	0千円	0千円	0千円						
事業の概要	-													引き続き、情報の提供依頼件数の増加を図るための方策を考える。また、登録した指導者の活用に努めていく。				-				一般財源				0千円	0千円
ISO 14001	H29 環境関連性	-			達成				事業の進捗状況				-	改善目標の進捗状況				-									
	H30 環境関連性	-			-				有効性				-	有効性				-									
評価	-				有効性				【終了】中：適切な成果が得られている				評価				H31年度の方向性				-	理由				-	
	-				効率性				【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性				-				-				-		
-				総合評価				—：事業の終了				総合評価				-				-				-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	0千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	0千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	01 青少年健全育成事業				指標名	あいさつ・声かけ運動実施数				指標種別	成果指標	指標の概要	市内各小中高校においてあいさつ・声かけ運動を実施した。					
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
				実績	120回	120回	120回	120回	-			その他の指標	・青少年の健全育成に協力する店舗数(累計) H25年度目標値:355件,実績値:397件 H26年度目標値:360件,実績値:407件 H27年度目標値:450件,実績値:406件 H28年度目標値:450件,実績値:404件 H29年度目標値:450件,実績値:409件					
				改善目標	H29年度 つくば市子ども会育成連合会やつくば市PTA連絡協議会との連携をとり、青少年相談員の活動について理解していただき、参加加入に取り組む。				H30年度 平成30年度から生涯学習推進課へ移管									
市長公約	-				事業計画	・あいさつ・声かけ運動 ・3月 図書等自動販売機の立入調査 ・6月～7月 学校訪問 ・まつりつくばでの啓発活動 ・地区巡回パトロール ・7月～12月「青少年の健全育成に協力する店」訪問活動				事業実施コスト				H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-													事業計画				事業費(A)
根拠法令等	-				活動実績	あいさつ・声かけ運動(通年) 6月～7月学校訪問(36校) 8月 地区巡回パトロール 9月～12月「青少年の健全育成に協力する店」訪問活動(61店舗) 3月 図書等自動販売機の立入調査(1カ所3台)				内訳				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业													上半期活動実績				一般財源
執行体制	職員のみ				成果	あいさつ・声かけ運動を実施することにより、あいさつをする児童が増えている。 累計で、登録店舗数は409店舗となり、昨年度より上回った。うち新規の登録は8店舗あり青少年健全育成に意識を高めることができた。				H31年度当初積算根拠				県支出金	53千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるようにするため。													課題				正職員
事業の概要	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。				課題	-				-				時間外勤務	115.45時間	10.00時間	0.00時間	
ISO 14001	H29環境関連性	-		事業の進捗状況										達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	
	H30環境関連性	-		評価	有効性	【終了】中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-	H31年度の方向性				-	理由	-
					効率性	【終了】中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
					総合評価	—:事業の終了				総合評価	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	0千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	0千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	02	青少年を育てるつくば市民の会補助事業	指標名	「家庭の日」図画・ポスターコンクール来場者数				指標種別	成果指標	指標の概要	「家庭の日」図画・ポスターコンクール来場者数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	-	450人	400人	400人	400人	400人	400人				
	-	-	-	-	実績	322人	384人	260人	300人	-				
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度					
	-	-	-	-	改善目標	つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等の事業に協力する中で、両会の会員を取り込んでいく。				改善目標	平成30年度から生涯学習推進課へ移管			
	-	-	-	-	その他の指標	・あいさつ・声かけ運動実施回数 H25年度目標値:110回, 実績値:100回 H26年度目標値:120回, 実績値:100回 H27年度目標値:120回, 実績値:100回 H28年度目標値:120回, 実績値:100回 H29年度目標値:120回, 実績値:120回								
市長公約	-													
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画													
根拠法令等	青少年を育てるつくば市民の会補助金交付要綱													
事業分類	E 補助金・負担金事業													
執行体制	補助金(直接)													
事業の目的	市民総ぐるみ運動による青少年育成団体を支援し、青少年健全育成の推進を図るため。													
事業の概要	青少年の健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。	活動実績	・「家庭の日」図画・ポスターコンクール事業(来場者数300人) 中央公園市民ギャラリー ・「子どもを守る110番の家」推進事業 ・あいさつ・声かけ運動推進事業 ・支部事業(親子交流事業・講演会)				上半期活動実績	-						
		成果	青少年育成関係諸団体や地域・学校と協力しながら事業を展開することにより、地域社会で青少年を健全に育成するという機運を高めることができた。				上半期成果	-						
課題	役員の後継者不足													
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	H30 環境関連性	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
評価	有効性	【終了】中:適切な成果が得られている				有効性	-							
	効率性	【終了】中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
	総合評価	—:事業の終了				総合評価	-							
事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	事業実施コスト									
事業費(A)	2,015千円	2,015千円	0千円	0千円	事業費(A)									
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	国庫支出金									
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金									
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債									
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財									
一般財源	2,015千円	2,015千円	0千円	0千円	一般財源									
人件費(B)	1,640千円	3,706千円	0千円	0千円	人件費(B)									
正職員	従事割合	0.22人	0.50人	0.00人	正職員									
時間外勤務	10.50時間	60.00時間	0.00時間	0.00時間	時間外勤務									
臨時職員等	無	無	-	-	臨時職員等									
事業コスト(A+B)	3,655千円	5,721千円	0千円	0千円	事業コスト(A+B)									
H31年度当初積算根拠	-													
H31年度の方向性	-	理由	-											

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	0千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	0千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	03	つくば市子ども会育成連合会補助事業	指標名	会員数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市子ども会育成連合会へ加入している会員数						
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度					
戦略プラン	-	-	-	-	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人							
	-	-	-	-	実績	2,179人	1,663人	1,758人	1,687人	-							
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度								
	-	-	-	-	改善目標	各支部が減少している状況のため、加入促進向けてのPRをし、つくば市会育成連合会の事業が有意義で魅力あるものになるよう協力をしていく。				改善目標	平成30年度から生涯学習推進課へ移管						
	-	-	-	-	その他の指標	-											
市長公約	-		事業計画	本部事業 7月 花壇推進活動 8月～11月 登山予定 1月～2月 冬研修事業(そば打ち体験) 各地区事業(桜・大穂・豊里支部)ノリダ-育成野外活動、登山、そば打ち体験	事業計画	平成30年度から生涯学習推進課へ移管				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画					事業実績	-				事業費(A)	902千円	899千円	0千円	0千円		
根拠法令等	つくば市子ども会育成連合会補助金交付要綱		活動実績	本部事業ノリダ- スポーツ鬼ごっこ大会 7月 花壇推進活動 各支部自主的活動事業(桜支部・大穂支部・豊里支部) 通年	上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	E 補助金・負担金事業					成果	異年齢の集団による仲間づくり活動や地域の育成者や保護者と共に行う活動を通して、地域コミュニティ構築の一翼を担えた。	上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(直接)		課題	支部が減少するなど、退会する単位子ども会が増加しており、加入の魅力が高めることが課題となっている。	課題				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	子ども会育成者への連絡調整を図り、団体が行う子どもたちの健全育成活動を支援するため。					事業の概要	子どもたちの健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	人件費(B)
	H29環境関連性	-	-	有効性	【終了】中:適切な成果が得られている				正職員	従事割合	0.16人	0.50人	0.00人				
ISO 14001	H30環境関連性	-	評価	効率性	【終了】中:適切な費用対効果が得られている				時間外勤務	5.00時間	5.00時間	0.00時間	H31年度当初積算根拠	-	理由	-	
		総合評価			—:事業の終了				臨時職員等	無	無	-					
										事業コスト(A+B)	2,089千円	4,466千円	0千円				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	0千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	0千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	0千円	

事務事業名	04 成人式開催事業	指標名	参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	成人の集い参加者数						
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度					
戦略プラン	-	-	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人							
	-	-	実績	1,630人	1,538人	1,624人	1,727人	-								
総合戦略	-	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-	改善目標	教職員の協力や警備員の増員，青少年相談員の協力により警備体制を強化したが，更なる警備強化が必要である。				改善目標	平成30年度から生涯学習推進課へ移管								
	-															
市長公約	No.29	事業計画	実行委員会開催(6回予定) 平成30年1月7日(日)つくばカピオで開催予定 内容(第1部 式典/第2部 ステージイベント等)				事業計画	平成30年度から生涯学習推進課へ移管				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会会議 5回実施 メンバー46人 ・平成30年1月7日(日)つくばカピオ会場にて，平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方1,727人参加 ・式典11時開始(30分前に各中学校ごとに集めた思い出VTRを放映)し，約40分の式典実施。 ・アトラクションとして，筑波大学津軽三味線倶楽部無絃塾披露 ・終了後に，記念撮影(茨城県写真協会つくば支部主催) ・来賓省略、警備強化、消防団・警察(中央署・北署)に協力をいただいた。 				上半期活動実績					事業費(A)	1,249千円	5,270千円	0千円
根拠法令等	-	成果		参加者数1,727人(男876人・女851人) 参加率 62.3% 社会の一員としての自覚と責任感を醸成する機会となった。					上半期成果					国庫支出金	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业		課題					課題						県支出金	0千円	0千円
執行体制	職員のみ	事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・新成人による実行委員会を立ち上げ，自らが成人の集いを企画し，当日の運営に参画する。 ・広報紙，ホームページへの掲載，対象者への案内通知などの広報活動を行う。 										地方債	0千円	0千円
事業の目的	新たに20歳を迎える市内の若者が一同に会し，大人への門出を祝うことで，社会の一員としての自覚と責任を養うため。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-	内訳	その他特財	0千円	0千円	0千円
事業の概要		有効性		【終了】中：適切な成果が得られている		有効性	-			正職員	人件費(B)	2,086千円	3,807千円	0千円		
ISO 14001	H29 環境関連性	効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-			時間外勤務	68.00時間	100.00時間	0.00時間				
	H30 環境関連性	総合評価	—：事業の終了		総合評価	-			臨時職員等	有	有	-				
									事業コスト(A+B)	3,335千円	9,077千円	0千円				
									H31年度当初積算根拠							
									H31年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	0千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	0千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	05 つくばサイエンスラボ事業				指標名	参加者数				指標種別	成果指標				指標の概要	つくばサイエンスラボ参加者数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		-	-	-	-	実績	160人	160人	160人	160人	160人	160人	160人							
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-	-	-	-		限られたコース内での改善, 応募者の対応を検討する。	改善目標				平成30年度から生涯学習推進課へ移管									
	-	-	-	-																
市長公約	-				事業計画	6月 コース計画, チラシ作成 7月下旬～8月上旬 実施 内容 実験教室, 施設見学, 自然体験など				事業計画				事業実施コスト						
個別計画	-					Aコース・7月25日(火)38人、採りたて野菜で窯焼きピザ作り Bコース・7月29日(土)30人、地図と測量の科学館・科学実験教室「昆虫の感覚と行動の不思議」 Cコース・8月2日(水)33人、「ロボットと学ぼうエコエネルギー」、小田城跡歴史ひろば Dコース・8月4日(金)41人、筑波山登山、つくばエキスポセンター 全4コース, 参加者数142人				上半期活動実績				H28年度決算						
根拠法令等	-					活動実績				成果				H29年度決算						
事業分類	A 任意的事业				課題	多くの参加者を受けられるよう事業の内容を見直すことが必要。				課題				H30年度当初						
執行体制	職員のみ					事業の進捗状況				事業の進捗状況				H31年度当初						
事業の目的	市内外の子どもたちを対象に、つくば市の地域資源である科学や自然を活かした体験活動等を通して、つくば市の特徴である豊かな自然と最新の科学技術への興味・関心を向上させるため。					達成				達成				H31年度当初積算根拠						
事業の概要	・つくば市内および足立区, 千代田区, 台東区, 荒川区の小学4年～6年生を対象に施設見学・体験活動を実施する。				達成				達成				H31年度当初積算根拠							
ISO 14001	H29 環境関連性	-				改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況				H31年度当初積算根拠						
	H30 環境関連性	-				有効性				有効性				H31年度当初積算根拠						
		-				効率性				効率性				H31年度当初積算根拠						
	-				総合評価				総合評価				H31年度当初積算根拠							
	-				【終了】中:適切な成果が得られている				【終了】中:適切な費用対効果が得られている				H31年度当初積算根拠							
	-				—:事業の終了				—:事業の終了				H31年度当初積算根拠							
	-				理由				理由				H31年度当初積算根拠							